

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成27年度）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学

3. 研究種目名 基盤研究(C)（一般） 4. 補助事業期間 平成27年度～平成29年度

5. 課題番号

1	5	K	0	3	5	8	3
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 1960年代のG10とOECD/WP3

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
7 0 1 0 7 4 9 9	イトウ マサナオ 伊藤 正直	社会情報学部	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

本研究は、国際金融システムの維持や運用において大きな役割を果たしてきたいくつかの国際金融組織の機能と実態を歴史実証的に明らかにすることを課題としており、とくに1960年代に重要な役割を果たしたと考えられているG10およびOECD/WP3の検討に焦点を合わせている。申請にも記述したように、平成27年度は、G10およびOECD/WP3に関連する内外資料の収集と既収集資料の分析を実施計画とした。この計画に沿って、アメリカ公文書館に保有されているG10関係の資料（すでに一部は収集済み）の分析を進めるとともに、日本側の財務省保有資料および日本銀行保有資料の保有状況調査を実施した。また、アジアにおけるブレトンウッズ体制下の国際金融システム対応の歴史過程を把握する目的で、平成27年12月に、アジア金融ハブとして急成長を遂げた、シンガポール金融市場に関連する資料収集を、シンガポール出張により行った。訪問先は、NAS（国立シンガポール公文書館）、シンガポール金融監督庁、シンガポール国立図書館他で、本案件に直接関連するシンガポール政府の政策公文書の収集を実施したが、金融政策に関しては、現時点でも「非開示」とされている領域が多く、残念ながら期待どおりの成果を上げるには至らなかった。また、平成28年春に、スイス・バーゼルのBIS訪問を計画し、すでに相手側の了解も得られていたが、ヨーロッパ金融市場の激動のなかで、日程の再調整を余儀なくされ、BIS調査は、平成28年度に延期となった。また、このほか、平成27年8月に京都で開催された国際経済史会議WEHCでは、国際金融機関史のセッションに参加しコメントを行った。

10. キーワード

- | | | | |
|---------------|--------------|----------|---------|
| (1) 国際金融機関 | (2) OECD/WP3 | (3) BIS | (4) G10 |
| (5) ブレトンウッズ体制 | (6) 大蔵省 | (7) 日本銀行 | (8) |

11. 現在までの進捗状況

(区分) (2) おおむね順調に進展している。

(理由)

おおむね順調に進展しているが、平成27年度に予定していたBIS調査が実施できなかったため、平成28年度には、この調査をできるだけ早期に実施したい。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

平成28年度の研究実施計画に沿って、引き続き資料収集に注力するとともに、新たに収集した資料分析も開始したい。その際、1960年代後半に生じた国際金融危機（1967年のボンド切下げに始まり、金プール制廃止、金二重価格制採用、SDR創設、マルク切上げ）に対するG10やOECD/WP3の理論的認識や具体的対応を検出することに努めたい。また、激化する国際短資移動をこれらの組織がどのように把握していたのかについても留意した検討を行いたい。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

当初予定していたBIS調査（スイス、バーゼル）が、ヨーロッパ金融不安その他の事情により、日程の再調整が必要となり、平成27年度中の実施が不可能となったため。

(使用計画)

平成28年度に、前年度に予定していたBIS調査を実施する。

(課題番号： 15K03583)

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

13. 研究発表(平成27年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(2)件/うち査読付論文 計(0)件/うち国際共著 計(0)件/うちオープンアクセス 計(2)件

著者名		論文標題				
伊藤正直・小池良司・鎖目雅人		1980年代における金融政策運営について				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
金融研究	無	34 - 2	2 0 1 5	67, 160	-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

著者名		論文標題				
Masanao ITOH, Ryoji KOIKE, Masato SHIZUME		Bank of Japan's Monetary Policy in the 1980s				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
Monetary and Economic Studies	無	33	2 0 1 5	97, 200	-	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
なし						
オープンアクセス						
オープンアクセスとしている(また、その予定である)						

(学会発表) 計(0)件/うち招待講演 計(0)件/うち国際学会 計(0)件

発表者名		発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所	

(図書) 計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

(国際研究集会) 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: -

17.備考

